



あかりみらい 越智 文雄 社長

おち・ふみお 1957年、札幌市出身。80年より北海道電力・電気事業連合会に勤務。2012年、株式会社あかりみらい起業。全国の完全LED化に取り組む。「(一社)日本の灯りを護る会」代表。

LEDを使用した電気の使用環境について、特に沖縄での大切さを訴えています。

沖縄は北海道と並んで全国で最も電気料金の高い地域です。電気という世界共通で同じ役割であるサービスが、地域によって価格に倍近い差があるというハンディキャップを皆さん理解しているでしょうか。

できることは省エネです。40ワットの蛍光灯を蛍光管型LED11ワットに変えるだけで、75%もの電気料金が削減されます。民間であれば当然のこの決断をできずにいるのが、公的機関の世界です。県でも市町村でも省エネ効果の高いLED工事を放置してきたツケが今、回ってきているといえます。

23年11月にスイスで「水銀に関する

水俣条約」が締結され、27年の蛍光管製造禁止が決まりました。あと2年半で沖縄のすべてのLED化を終わらせないと、安定器の寿命が来たものから順にその施設は停電(不点灯)してきます。沖縄のハンディは物流と人手

LED化は喫緊の課題

にとっては一刻の猶予もないのは明白です。

沖縄県内での取り組みについて。

弊社では主に地方公共団体施設の1括LED化を請け負っています。民間企業の場合はリース会社の与信審査が

D化してしまうべきです。民間企業の場合も1日8時間点灯している事務所であれば、3年か4年で元が取れます。

もしも中国との関係が悪化すると、LED照明の原料であるガリウムが輸

が当然の判断です。今後の活動について教えてください。

年末には、経済安保の問題として城内実経済安全保障担当大臣にレクチャーしてきました。また、伊東良孝沖縄北方大臣にも地方創生以前の地域の危機としての問題意識を持っていただきました。

出禁止になる可能性があります。当然LEDの価格は高騰し、その時点では人件費も値上がりし、停電回避のために投資回収ができない設備改修しかできなくなります。どうせやらなくてはならないLED化ならば、品不足にならない価格が高騰する前に済ませておくの

あります。県や市町村の場合には10年以上の長期分割リースを適用できます。県民の税金がLED管に比べて4倍も高い蛍光管の電気料金に使われ続けていること自体がおかしいのですから、今すぐ電気料金削減の範囲で支払いができるリース契約で、一気にLED

昨年玉城デニー知事や各市町村長にもお会いしてメッセージを発信しています。首長のみなさんも、議員のみなさんも、経営界のみなさんも、皆さんのみなさんも、電気工事界のみなさんも、地域の灯りを護って沖縄の危機を乗り越えましょう。沖縄の灯りを「護る」ことが、当社の使命と考えています。

LED化のご相談は

株式会社あかりみらい



お問合せはこちら

0120-760-814

フリーダイヤル受付(平日9時~17時30分)

あかりみらい

検索

【沖縄あかりみらい株式会社】沖縄県那覇市久茂地2-19-5

【札幌本社】北海道札幌市北区北11条西2-2-17 セントラル札幌北ビル4階

【東京支社】東京都中央区日本橋室町1-2-6 日本橋大栄ビル7階

【大阪支社】大阪府大阪市北区梅田2-2-2 ヒルトンプラザウエストオフィスタワー18階